ミンフイ・インターナショナル特別号
MINGHUI INTERNATIONAL 明慧
―― この資料の印刷費は ボランティアで賄い 無料配布しています ――

法輪功（ファルンゴン） 中国問題を解くカギ

現代中国を知る

中国専門家に、中国を理解する上で最も重要な要素は何かと尋ねると、経済成長、手に負えない汚職、貧富の格差、共産党の内部闘争など、様々な回答が返ってくる。

しかし、多くの分析から抜け落ちている要素がある。中国をいかに理解し、中国といかに向き合うかを根本的に変える要素が抜けているのだ。

それは、１億人を惹きつけた法輪功である。

２ページに続く…

特集記事

現代中国を知る

法輪功、ジグソーパズルの一片？

（前ページからの続き）

中国以外の国でこの要素を認識している者は、ほとんどいない。漠然とした認識を持つ者は、古いニュースだと一蹴しがちだ。しかし、この問題を本当に理解すれば、現代中国の最も不可思議な矛盾を解き明かすことができる。

・なぜ、腐敗撲滅運動が繰り返し展開されているのに、腐敗がいまだ横行しているのか。

・なぜ、学校や病院が資金不足の中、なぜ中国共産党政権はインターネットの検閲、監視カメラ、労働教養所に多額の公費をつぎ込むのか。

・なぜ、国際社会からの信頼を失っても、中国政権のリーダーたちは、司法とメディアに対する管理を緩めることに抵抗するのか。

これらの疑問の解答を模索するには、1992年に遡る必要がある。当時、中国東北部で、数千年にわたる体系的な修煉システムの直伝を受けた李洪志氏が、法輪功（ファルンゴン）を初めて公開した。

善の力

法輪功は、それまで伝えられてきた他の気功とは異なる。エネルギーを動かすゆっくりとした動作は普通の気功と同じだが、日常生活で自身のモラルを高め、真の自分を発見する道を修煉者（法輪功を学ぶ人のこと）に指導する点で、他とは一線を画する。

その中核には「真・善・忍」の三つの理念があり、修煉者は、その理念に基づいて言動を律するように努力する。

法輪功は口伝えに広がり、人々は心身の変化を実感した。7年間で、推定1億人が法輪功を学んだ。

法輪功の効果は、家族内の不和の解消にとどまらず、警官は賄賂を受け取ることをやめ、作業員は工場から物を家に持ち帰らなくなった。共産党政権下の中国で、修煉者は中国社会を安定させる役割を果たし始めていた。

不当な決定

その動きに、1999年7月、大きな変化が訪れた。当時、共産党最高責任者であった江沢民が、中国で法輪功を弾圧する運動を始めたのだ。

江沢民は、党の管理外で膨大な数の人々の心を惹きつける法輪功に対して、嫉妬と恐怖を抱いた。専門家は、「決断は江沢民一人によるもので、ほとんど偏執的な行動だった」と分析している。

法輪功の迫害にあたって、江沢民は中国の主流社会の中核層をターゲットに攻撃を開始した。人口の12人に1人が愛好していた修煉法を弾圧するために費やした力は並大抵のものではなかった。

法輪功を悪魔化するプロパガンダを大量に流す必要があった。労働教養所と拘置所には、多くの人が収容されるようになる。法的規制を受けない警察の専門機関が江沢民の手先となり、さらに、インターネット検閲により、国民が真実を知ることを阻んだ。

カフェラテやiPhoneだけではない。現代の中国を真に理解するには、スターバックスやアップルストアを超えて、善悪を反転させた残虐な迫害の動きを把握することが肝要となる。

12人に1人が愛好している人気の修煉法、並大抵の力では打ち崩せない

徳を抑圧 悪の応報

法輪功の弾圧運動は、人力、財力が費やされただけでなく、中国社会の道徳の枠組みを壊すこととなった。「真・善・忍」がタブーとなり、この価値観を大切にしているだけで、虚言や差別などによる迫害を受けた。

法輪功修煉者への拷問・殺害に積極的に加担した幹部は昇進した。修煉者の家族は肉親を密告せざるを得ない状況に置かれた。近所の修煉者を密告する者は報奨金を与えられた。

一方、迫害への協力を拒んだり反対したりした者は、会社をクビになり、連行され、監禁され、時には殺害された。弁護士であろうと、政府高官であろうと、容赦はなかった。数十万、数百万人の正直で勤勉な人々が「再教育（洗脳）」されるために労働教養所に送り込まれた。道徳の危機が国家全体を襲った。

存続する法輪功

江沢民の企てとは裏腹に、法輪功は打ち崩されることはなかった。人の心を啓発する理念は、権力機関による残忍な迫害に遭っても、消え去ることはなかった。

法輪功修煉者は、自らの信念を守り、多くは釈放されると同時に修煉を再開した。

さらに、共産党の虚言と残虐さを人々に認識させるため、修煉者は革新的な非暴力運動を展開した。

チラシやDVDが作成され、横断幕が掲げられた。また、インターネット検閲を突破するツールが開発された。（15ページ参照）

迫害から10年以上経過した現在、2000～4000万人の法輪功修煉者が積極的に関連情報を国内外へ発信している。これを受け、当局による監視カメラと追跡設備に、より多くの公費を投入した。さらに、法輪功弾圧に適用された歪んだ基準によって、食品業界から医療業界に至るまで、社会全体にわたって、無法と賄賂が蔓延するようになった。

中国国民が自由と権利を主張している今、党の幹部は手綱を一向に緩めようとしない。国民に自由を与えることで、法輪功に対する自分たちの犯罪が明るみに出て、これまでの統治ができなくなるからだ。

これらの国家全体の動きに対して、中国国外の人々は、ジレンマに陥っている。中国共産党の権力にしがみつき、短期的で表面的な安定を守るべきか。それとも、党への協力を拒み、中国に長期的な安定・繁栄をもたらす動きを全力で支えるべきか。

この歴史の分岐点で、中国の未来は全く予想できないかのようだ。しかし、一つだけ確かなことがある。「真・善・忍」を擁護することで間違った方向に進むことはないということだ。

ミニ知識

- 1999年までに1億人が中国で法輪功を学び、社会は徐々に安定していった。
- 1999年に始まった迫害は、この動きを逆行させ、賄賂、拷問が中国社会で日常茶飯事となる。迫害が終わるまで、数多くの問題は、解決されないままの状態に止まるしかない。
- 法輪功に関する事は、共産党政権の幹部による最近の内紛など、中国で何が起きているかを洞察する重要な要素である。

予期せぬメッセージ：中国東北部の佳木斯市住民は、2011年7月「真善忍は素晴らしい。法輪功は素晴らしい」のメッセージで朝を迎えた。

現代の中国

ニュースの裏の真実　血にまみれた薄熙来の手

2012年2月6日、中国南西部の大都市・重慶市の元公安局長・王立軍が、四川省成都市にある米国総領事館に足を踏み入れた。政治的亡命を求めるもので、ここ数十年の中国の政界で最大のスキャンダルとなった。

24時間後、総領事館を出た王は、その場で北京警察に連れ去られた。

この事件により、当時の重慶市トップ、薄熙来（はく・きらい）党委書記はその職から下ろされた。さらに、党中央政治局委員からも外された。中国統治において最高の権威を持つ政治局常務委員に選出されるという彼の野望は、一瞬のうちに泡と化したのだ。

このスキャンダルに伴い、2011年の英国人実業家殺害に薄と妻が関与していたことも表面化することとなった。秘密のベールが剥がれた瞬間だった。

ベールの下に隠されているのは、殺害事件にとどまらなかった。法輪功迫害への薄の関与も浮かび上がったのだ。

薄と王の関係は、重慶の高官になるかなり前から築かれていた。2000年代の初めは二人とも遼寧省にいた。薄は遼寧省長と省党委副書記を務め、王は同省錦州市公安局長と市党委書記を兼任していた。ここで二人は、江沢民に対する忠誠を示す行動の一部として、法輪功迫害に躍起になった。

薄の管理下にあった遼寧省は法輪功にとって最も危険な省になった。迫害の被害者が「悪魔の巣窟」と呼んだ「馬三家労働教養所」は遼寧省にある。

迫害に加担した薄を追及すべく、拷問の被害者は世界数カ国で薄を起訴している。2009年11月、スペイン法廷に起訴された中国人高官5人に薄の名が含まれていた。

一方、王は臓器移植業界に触手を伸ばし、良心の囚人である法輪功修煉者から、生存中に強制的に臓器を摘出し、裕福な患者に高額で販売するという身の毛のよだつような取引に手を染めた。（9ページ参照）

薄熙来（はく きらい）
元遼寧省長

薄と王が取り仕切った一つの弾圧運動だけで、少なくとも300人の法輪功修煉者が拘留され、特別洗脳センターに送り込まれた。

これらの詳細は全て、現在の政治スキャンダルと党内の内紛を理解する上で欠かせない。しかし、主要メディアはほとんど報道しない。「法輪功」と聞くとメディアは目をつぶってしまうようだ。しかし、以下の点を熟慮して欲しい。

（1）英国人殺害に関与していることを考えれば、それ以外の殺人も不可能なことではない。

（2）漏えいした2007年の米国外交官の通信内容によると、薄が商務大臣から重慶市長へと左遷された理由の一つに、拷問に関わった薄が海外で起訴され、政権に汚点をつけたことにある。

（3）王が米国総領事館に提供したいくつかの報告書には、薄の数々の悪事の中に、法輪功迫害に関連する罪証の詳細が含まれていた。

（4）2012年3月、中国のインターネット検閲が突然緩和されたことがあり、「王立軍、臓器摘出」のようなキーワードが検索できるようになった。法輪功への迫害に比較的温和な態度を取ることで知られている胡温（胡錦濤・温家宝）サイドが、薄を含むライバルの威信を傷つけ、法輪功の扱いに賛同しないことを示そうとした。

法輪功修煉者の声

中国共産党による迫害が始まって以来、法輪功修煉者は一貫して、以下の３つのステップで迫害を停止させるよう主張してきた。情勢が変化し、当局者が責務を逃れるために交渉しようとするかもしれない。しかし、このようなことが二度と起きないよう、以下の三点を主張していく必要がある。

全ての法輪功修煉者を直ちに釈放せよ

今でも、数十万人に及ぶ法輪功修煉者が拘置所や労働教養所、刑務所で不当に収容されており、中国本土の良心の囚人の中で最も多い。迫害を停止させる最初の一歩は、一人残さず拘束された法輪功修煉者を釈放することである。

迫害の被害者に弁償せよ

拷問、性的暴行、財産の没収、退学処分など、様々な迫害を受けたすべての被害者に損害賠償を行うこと。

首謀者は裁かれるべき

下記の4人は、当初から迫害を取り仕切っていた。自ら犯した罪に対して、拷問、虐殺に積極的に加担した関係者とともに、一人一人が裁かれ処罰されるべきだ。4人全員が2009年、中国国外で迫害の被害者により起訴された。うち2人は、拷問罪と集団虐殺罪を犯したとして、スペイン国立法廷が起訴を受理している。

迫害され37歳で死亡した高蓉蓉さん

2003年7月、薄が遼寧省長を務めていた際、会計士だった高蓉蓉さんは、法輪功を学んでいるという理由で、悪名高い馬三家労働教養所に送り込まれた。そこでは、看守がスタンガンを使って、高さんの顔を焼き付け変形させた。約2年にわたる迫害ののち、2005年3月6日、高さんは拷問により死に至った。享年37歳。

迫害の首謀者

江沢民

元共産党総書記。迫害を発動した張本人。法輪功弾圧に加担するよう、あらゆる階級の政府幹部に強要した。

周永康

元共産党政法（司法・公安）委トップで、元政治局常務委員。 中国各地を直接回り、法輪功への弾圧を強化するよう、各地の幹部に指示した。

劉京

01〜09年、悪名高き610弁公室（法輪功取締機関）の最高責任者。610弁公室は、共産党に直属する秘密警察部隊であり、法輪功迫害の統括として、全国各地に設置された。

羅幹

江沢民の右腕。周永康の前任として、03〜07年、政法委トップを務めた。迫害初期、強力に迫害を推し進めた。

これまで誰も語らなかった

中国でビジネスをする際に知っておくべきこと

ビジネスで成功を収めるには、知識が資本同様に大切である。時には、知識の方が求められる。自分のビジネスを知ること、自分のライバルを知ること、自分の市場を知ること、そして最も重要なのは、自分のリスクを知ることだ。

中国でビジネスを展開する際、事業に長期的な影響を及ぼしかねないにもかかわらず、ほとんどの人が触れない重要な分野がある。それは法輪功だ。

突拍子もないように聞こえるかもしれないが、法輪功は1999年以来、中国全域にわたる迫害運動の対象とされてきた。一億人以上の修煉者を擁した側面からも、その影響を恐れ、社会の隅々まで浸透した共産党の迫害という側面からも、中国の社会・政治・ビジネスにおいて、法輪功が最も影響力のある要因に挙げられることは確かだ。

この要因を無視し、無関心であれば、自分や事業がトラブルに巻き込まれてしまう可能性がある。

中国でビジネスを展開する際のいくつかの重要なヒントを以下に挙げる。

中国でのビジネスには、暗い側面がつきまとうことがよくある。揺るぎない理念を抱き、いざという時の事に備えることが最良の道。

取引先を知る

中国の主要業界のほとんどは、中国共産党の高官が直接経営しているか、またはかなりの影響を受けている。これは公然とした事実だ。このような高官の勢力にうまく対処できる戦略が含まれたビジネス・プランが成功に導く。しかし、これらの高官はどのような人たちであろうか。

中国共産党の総書記だった江沢民による、1999年の法輪功弾圧命令は、迫害の開始となっただけでなく、党内の粛正の引き金ともなった。

党の路線に慎重に従ったか、または積極的に血まみれの迫害運動を推進した者は、昇進した。党の路線を拒否したか、または知り合いの法輪功修煉者は何も悪くないとして自分の立場を明示した者は、罰せられたか降職させられた。

この歪んだ奨励体制が10年以上続いた今、都市、省、国家レベルの高官のほとんどが、法輪功弾圧に力を加えて来た。彼らは罪のない人々を労働教養所に送り込み、それによって、地位や金銭を手に入れた。つまり、彼らは人道に反する犯罪の共謀者なのだ。

中国でのビジネスには、共産党の高官が必ず現れる。彼らと手を取る前に、これらの手が、どこでどれほどの苦しみを生み出してきたのか、考えて欲しい。

ミニ知識

- 国際ビジネスに関わる多くの中国の高官は、拷問や殺害に関わってきた。
- 数百万の中国人の潜在的消費者が、法輪功の迫害に反対している。
- 私たちが購入する商品の裏には、中国での人権侵害が絡んでいる。

市場を知る

人口13億人の潜在的な消費者市場を無視することが不可能であることは、中国でビジネスを展開する者なら誰もが同意するだろう。

しかし、実際の中国人とはどんな人々なのだろうか。どのような価値観をよりどころとし、長期的な信頼を勝ち得るにはどうしたらよいのだろうか。

中国では、メディアの規制と党幹部による監視などで、法輪功は表に出ず、排除されたかのように見受けられる。しかし、少し掘り下げてみると、全く異なる現実が現れる。

拷問への恐怖や偽りのプロパガンダのため、当初は、多くの国民が法輪功弾圧運動を支持していたが、一般の中国人に真実を伝えようとする法輪功修煉者の草の根の努力が、実り始めている。

人々は中国伝統文化に親しみを抱き、法輪功にも関心を寄せるようになってきた。より多くの一般市民が法輪功を擁護するようになってきているのだ。

法輪功の案件に触れる勇気のなかった弁護士達が、党の命令に公然と反抗し、公開法廷で積極的に迫害に反論している。

何年にもわたる弾圧にもかかわらず、法輪功を学ぶ者は数千万人もいる。その中の多くは高度な教育を受けており、彼らは国際ビジネスの潜在的な顧客層である。

世界で最も人口の多い国で、長期的な市場占有率を維持しようと思うのなら、国民が心に抱いているものを無視することはできない。企業、団体が、中国共産党政権を重んじるか、それとも、国民や中国の精神の真髄を重んじるかは、極めて重要だ。

事業の許容範囲を知る

国際ビジネスの最も複雑な側面は、取引先の国における統治や規制に気を配ることだ。中国では、全ての主要な政府の役職に党員が就いているため、共産党と効果的な取り決めをする方法を理解することが求められる。

どのような取り決めなのだろうか。何が要求されるのだろうか。どの程度まで要求に応じればよいのだろうか。その代価は？

道徳・法的義務を犠牲にして、共産党にへつらい、利益を追及すればいいのか。中国の外資系企業が政権の弾圧政策に加担するよう圧力をかけられた例は山ほどある。

特に大規模にビジネスを展開することは、マフィアのような体制と取引をすることを意味する。賄賂と暴力が司る世界では、誰に従うべきかという規則は明確だ。そして、不法かつ、道徳にもとる行動を取るよう求められ、命取りの結果をもたらすこともある。

これらの圧力に屈しなければ、短期的には契約のチャンスを一つ、二つ逃すかもしれない。しかし、政権の要求に従えば、長期的により多くのものを失うことになる。

金銭面のみならず、道徳面で自分のビジネスの基準を把握する必要がある。将来、悔いを残さないために、彼らの要求に従わないという戦略を確立することだ。

中国で事業を展開する上で、自分のビジネスを把握し、市場を知る必要があることは言うまでもない。しかし、最も重要なことは、法輪功に対する自分のスタンスをしっかりと把握することだ。

真のリスクを見極める

中国の外資系企業は、政権の方針である法輪功弾圧に加担するよう、定期的に圧力をかけられている。拒否することはリスクを伴うように見えるが、要求に応じるとそれなりの応報がある。

Yahoo！と検閲

中国では、Yahoo!のような検索エンジンは、「法輪功」を検索する際、中国共産党政権が承認する検索結果だけを示すように要求されている。たとえ故意でなくても、この検閲行為は、政権の生み出した無知と憎悪の気風に貢献してしまっている。

2010年、Googleが中国市場から検索エンジン業務を撤退した理由の一つに、政権との共謀から自らを切り離したことが挙げられている。

Mary Kayと差別

化粧品業界で世界最大のサプライヤーの一つであるMary Kay。2003年、中国にいる全ての営業マンに対し、雇用前に法輪功を学んだことがないことを証明する書式に署名を求めたというニュースが明るみに出て、Mary Kay自身が槍玉に挙げられた。

Mary Kayは、制度の撤回を余儀なくされ、ブランドへのダメージを回復するために長期にわたるPRに力を入れることとなった。

Ciscoと監視

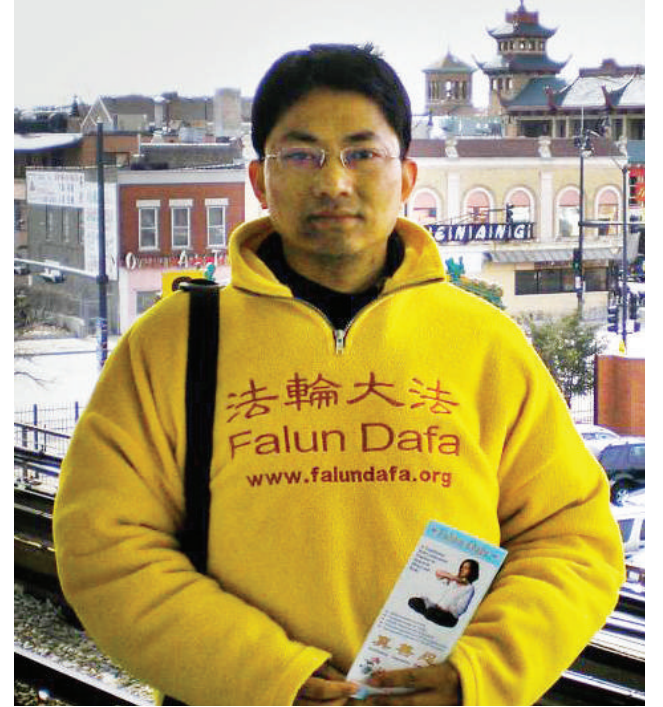
Ciscoは、2011年5月、法輪功修煉者を識別し、追跡するための技術を販売・設計・構築したという容疑で、サンフランシスコの法廷で集団訴訟の対象となった。

提出された証拠の中には、当局が法輪功修煉者を捕まえる助けとなる手立てを示すCisco側のプレゼン資料が含まれていた。

最高経営責任者ジョン・チェンバーズなどの幹部も被告に含まれている。原告が勝訴すれば、Ciscoは損害賠償を支払うこととなり、企業イメージに汚点がつき、取り返しがつかないこととなるだろう。

中国の強制労働所に拘禁された人々

公認会計士の張連英さんは、法輪功を学んでいるとして、労働教養所に三回送り込まれた。2008年、北京五輪前の取り締まりとして押し入ってきた警察に、頭に袋をかぶせられて連れ去られた。馬三家労働教養所に送られ、裸にされ拷問を受けた。2011年、米国に逃れた。

音楽家の陳剛さんは、悪名高い団河強制労働所に一年半にわたって拘束されて拷問を受け、大きな障害を負った。陳さんの救援活動が国際的に展開されたため、現在は釈放されて米国で暮らしている。

中国の著名大学である清華大学を卒業した黄奎さんは、2年の拘留の後、3年間、労働教養所で輸出用のクリスマスツリー・ライトと花飾りを作る仕事に従事させられた。16時間の強制労働、殴打、拷問、睡眠の剥奪が日常的に行われた。

使い捨てお箸はどこから？

世界中のどこに行っても、木製の箸は欠かせない。しかし、不運なことに、箸は中国に数多く存在する強制労働所から救い出された法輪功修煉者が口々に語る製造品目の一つだ。

「一日に7000膳、時には1万膳を要求されました。ノルマをこなさなければ、眠らせてもらえません」と陳剛さん（写真中央）は北京の労働教養所で箸を袋詰めしていた当時を思い起こす。陳さんは法輪功を学んでいるという理由で送り込まれた。「汚れた環境でした。何カ月も体を洗うことができませんでした」

巨大なネットワークを有し、全土に広がる労働教養所に収容された人々。その大部分は、法輪功修煉者だ。陳さんのように、家から連れ去られ、警察署に送られ、「再教育」のために労働教養所に送り込まれる。まるで全体主義国家に対する警告を発した小説家、ジョージ・オーウェルの世界のようだ。

労働教養所では、拷問を受け、スタンガンで電気ショックを加えられ、睡眠を剥奪され、一日12時間以上、輸出品を含む製品の製造に従事させられる。靴に靴底を貼り付ける作業、衣類の縫製作業、そして、不衛生な環境下で、使い捨ての箸を包む。

私達がふだん使用している箸もそうなのだろうか。

中国での抑圧がもたらす危害 自分は無関係なのか？

アルバカーキ市の自宅の玄関先に座り、米国南西部の柔らかな日差しに身を包み、無造作に新聞を投げ捨て、息子に目をやった。おもちゃの機関車で遊ぶ姿を見て、突然「中国の道徳の後退が息子を死に追いやるかもしれない」という発想が頭を横切った。

ちょうど、中国製の最新の毒入り製品の記事を読み終わったところだった。そこに書かれていた機関車トーマスのおもちゃは、息子が遊んでいるものと全く同じものだったのだ。私は機関車をごみ箱に放り込み、息子の手を石鹸で三回洗った。

粗末な製造工程が理由の一部であるが、中国では、それ以上に険悪なものが社会に浸透している。基本的な道徳観の喪失だ。製品が粗末な素材から作られているだけではない。故意に有毒物質で作られているのだ。

1990年代、中国は独裁政権下ではあったが、自由、法律、経済の面で向上がみられた。しかし、法輪功迫害が始まった1999年、多くの制度が数十年前に逆戻りしてしまった。

共産党内の「浄化」の過程で、暴虐な幹部が昇進し、良心のある幹部は粛正された。社会経済に与える影響を省みず、警察は法輪功の弾圧を任務の中核に据えた。

法輪功への迫害は、道徳の後退を広域に浸透させた。CNNのシニア・アナリストであるウィリー・ラム氏は、「中国が直面する最大の危機」と指摘している。

このような系統的な迫害が続く限り、中国の高官や一般の国民は、人類共通の人道主義や、互いの安定に対する責任についての理解を失ったままの状態に置かれてしまう。この道徳の危機は、中国の工場から世界に輸出される製品をさらに危険なものにしている。

手を組む相手は誰なのか

略歴には書かれていない中国の高官の詳細

迫害が始まって10年以上が経過した。各省や都市を司る多くの中国の高官が、拷問を奨励するなどの形で、法輪功弾圧に加担してきた。右記の４人の高官は、氷山の一角に過ぎない。

氏　名	職　位	法輪功迫害への関与
薄熙来	重慶市元党委書記。元商務部長（大臣）。中国共産党中央政治局元委員。元遼寧省長。	薄熙来の管理下で、遼寧省は拷問、殺人の温床となり、同時に法輪功修煉者を対象とした不法な臓器摘出の中核となった。薄は数カ国で拷問への直接的な関与で起訴されており、一つの法廷では拷問罪がすでに判定されている。
劉淇（キ）	北京市元党委書記。元北京市長。北京五輪委員会の代表。中国共産党中央政治局元委員。	劉の管理下で北京の警察は、公に法輪功修煉者に暴行を加えた。2004年、米国連邦裁判所は、劉に拷問罪および性的暴行罪を裁定した。劉のもとで、五輪開催前に8000人の法輪功修煉者が拘束された。
呉官正	山東省元党委書記。中国共産党中央政治局元委員。	ピューリッツァー賞受賞の記事によると、呉の管理下で、懲罰的な制度が導入され、拷問が浸透するようになった。制度が導入されてから18ヵ月間で、24人の死亡が確認されたが、実際の死亡者数はそれをはるかに超える。
夏徳仁	元遼寧省副省長。元大連市長。	国営のマスコミを利用して迫害を展開。遼寧省を法輪功修煉者にとって最も危険な省の一つにした。2004年、米国連邦裁判所は、法輪功修煉者の拷問を監督した罪を夏に裁定した。

健やかな体験

数百万人が体験した、驚くべき健康効果

ベッドから起き上がることさえ難しかったキャリー・ドブソンさん。体の半分の感覚がなく、服を着替えることも一日がかりだった。

感染症の一種でライム病という難病を患って10年。病状は悪化の一途を辿り、肢体不自由になる寸前だった。「いくらお金がかかっても、どこに行っても治したい。私は必死にもがいていました」と過去を振り返る。

そして運が巡ってきた。自宅の庭で治療法を見つけたのだ。しかも1円もかからずに。中国人の友人の紹介で、法輪功という中国の伝統的な精神修煉法を知った。わずか数週間で、ドブソンさんは元通りの生活を取り戻すことができた。

「法輪功が私を変えました」と話す56歳の彼女だが、見た目は10歳近く若く見える。

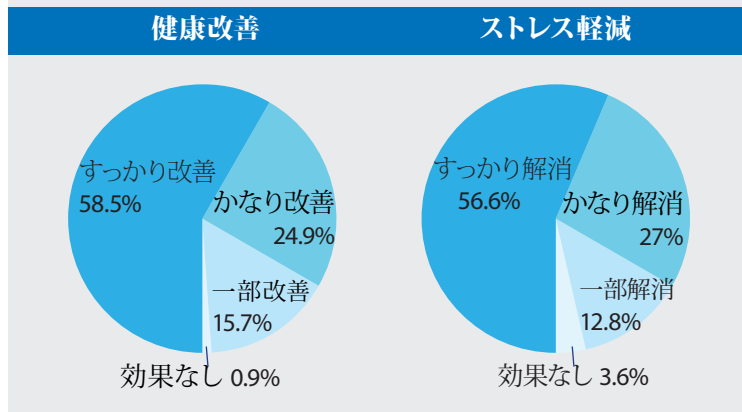
「真善忍に基づく修煉方法が、私に健康な体を取り戻してくれたのです」

修煉を始めて12年。ドブソンさんを悩ませていた難病はすっかり治り、今では、これまでになく健康的で幸せな生活を送っている。

北京で健康を改善

大気汚染では世界都市ワースト10に入る北京。健康を連想させる都市ではない。しかし1998年、北京に住む1万2731人の法輪功修煉者が回答したアンケート調査から、法輪功が健康に効果的な作用を及ぼしていることが分かる。

下記の円グラフは、顕著な調査結果の一部を示している。

人気を呼ぶ公園での煉功

ライム病は治療不可能とされる難病だが、ドブソンさんの身に現れた変化は、決して例外的なものではない。

この素晴らしい健康効果は、ドブソンさんにとどまらない。世界で数百万に上る人々が経験しており、法輪功を始めるきっかけとなっている。1990年代の中国では、毎朝の日課として煉功する人々の数が数百万人に上るほど、法輪功は大人気を博した。

なぜ法輪功？

「中国人は本来、実践的です」と中国北京出身の趙明さんは話す。現在はニューヨークに在住。彼は、爆発的に広がる法輪功の効果を肌で体験した。「効果があると聞くと、皆やってみるのです。効かないならば続けません」。「中国共産党政権下で、中国人はイデオロギー的なものや国の指導者への失望など、辛辣な経験を経てきました。そのため、実質的で役立つものを見分ける能力が身に付いています」。そんな中国人に、法輪功はまさに「効いた」のだ。

90年代中期まで、中国全土の公園で、穏やかな音楽に合わせて法輪功の気功動作をする人々の姿が見られた。

「法輪功はとても効果がある、と人々は分かるようになりました。法輪功を試して、肉体的にも精神的にも効果のあった人が、誰でも1人は身近にいました」と趙明さんは語る。体験者は、よく眠れるようになり、ストレスが軽減し、エネルギーが高まり、精神も向上した。また消化不良の改善、慢性疾患の治癒などの報告もあった。法輪功を学ぶ修煉者が基盤とする『轉法輪』は、中国でベストセラーとなった。99年には、修煉者が1億人にまで達した。その中には中国共産党員も含まれている。

奥深いレベルから健康に

簡単な気功動作と座禅、そして生活の指針だけで、なぜこれほど効果的なのか。他の気功とはどこが違うのだろうか。何が「効く」のだろうか。

法輪功は複数の次元で効果をもたらし、他の気功よりさらに奥深いものだという。「エネルギーのレベルで作用する」と、中国医学と西洋医学の両方を手がける楊景端医師は語る。彼は、自ら法輪功の効果を体験している。（『喫煙が自然にやめられた』を参照）

「血液や筋肉のレベルだけでなく、異なるレベルで体に作用します。心身を向上させることで、疾患の根本にまで及ぶのです」

法輪功は、道徳的な教えを中核に据え、穏やかな煉功と相補する。他の気功との大きな違いはここにある、と多くの人は言う。

高潔に身を修め、 高いレベルに人を導く強力な気功だ。

「病から解放される以上のものです。健康になるということ。本当の意味で快適になるということです」と、ニュージャージーの教育者ライアン・スミスさんは話す。

「体の具合が悪くなるという恐れから、これを予防しよう、あれを予防しようとする生活からの解放される素晴らしさは言い表すことができません」

「法輪功はあらゆる側面にわたって丹念に自分をケアするようなものです」

喫煙が自然にやめられた

人々に健康的な生活を送る方法を説く医師の楊景端さんは、実はヘビースモーカーだった。「一日に１～２箱、中国製のタバコを吸っていました。何度も禁煙に挑戦しましたが、やめられませんでした。しかし法輪功を始めると、タバコの味が変わりました。すごくまずくなったのです。数日学び続けた後、いつものようにタバコを吸おうとしたら、突然、吐き気に襲われました」

その後、楊さんは14年間タバコを口にしていない。「法輪功を学んで何かが変わりました。体はもうタバコを欲しがらない。禁煙するぞと構えなくても、実に自然な形でやめられたのです」

もっと学ぶ

法輪功についての詳細は下記のサイトへ。

falundafa.jp
jp.minghui.org

法輪大法 Falun Dafa
ZHUAN FALUN 轉法輪 LI HONGZHI 李洪志

朝の気功風景：四川省で法輪功の第一式の功法を行う人々。1990年代、中国では多くの人々に目覚ましい健康効果が現れた。

平常心：ニューヨークの公園で煉功するニューヨーカーたち。法輪功の中核にあるのは自己を高めること、つまり本当の意味で心と身体を修煉することだ。

自己を修める

メディアの見出しでは見られない 法輪功の修煉方法と歴史

法輪功は佛法に基づく中国古来の精神修養の功法だ。道徳を修め、静功と穏やかな四つの動功から成る。動作は実に独特で心地良く、健康と体力を増進させる。

法輪功の中核にある理念は、宇宙の基本となる特性「真・善・忍」だ。修煉者は、日々の生活、修煉における指針として心に刻む。

家族との関係

ケイトは母スーザンを、「決めつける。人を受け入れない。満足することがない。自己中心的」と、まるで角が生えているかのように描写していた。良い親子関係が築けるとは思えない状態だった。

しかし現在は、二人とも互いに慈しんでいる。ケイトは母が「別人」になったと語る。

61歳のスーザンは、「法輪功のおかげで私たちの関係と家族は完全に変わりました。ようやく相手のことを最初に考え、相手の立場に立つことができるようになったのです。自分より他人を優先できるようになりました」と自己を振り返る。

中国人の多様な感性、価値観、理想を凝縮することで、法輪功は中国の伝統文化の最高の資質を、現代の生命にもたらしている。

法輪功を世に伝えた李洪志氏は、「宇宙の最も根本的な特性である真・善・忍に同化することが、法輪功の修煉の基本です。修煉はこれらの最高の資質に導かれ、宇宙の発展の根底にある法に基づくものです」と解説している。

法輪功はまた「法輪大法」（ファルンダーファ）としても知られる。

1999年に至るまで、中国では数多くの修煉方法の中で、法輪功は最も多くの人々を惹きつけ、最も急速に成長した。1992年に一般に公開されて以来、わずか7年で推定1億人の中国人が法輪功を学び修煉するようになった。

中国では、この種の精神修養は、「修煉」または「自己修養」と呼ばれ、古代の中国文化の一部であった。道教、佛教、儒教の教えはこの修養の範疇に入る。

専一に修煉を続けていくことで、法輪功の修煉者は、無私無欲になり、自覚や洞察力を備え、内面が浄化され、真の健康とも呼べる状態になる。究極的には、「悟り」または「道を得る」という精神状態へと到達するのだ。

法輪功は自己の内面を変化させようとするものだが、修煉者は家族に対して忍耐するようになり、上司にも良心的になり、社会に積極的に貢献するようになるため、身の周りにも良好な影響をもたらす。

このため、法輪功は政府の高官や様々な機関から、数多くの表彰状、賞、声明文を授与された。多くの法輪功修煉者が、コミュニティや職場で、奉仕に対する賞を受けている。

法輪功を伝え出した李洪志氏は、ノーベル賞に5回ノミネートされ、欧州議会が創設した「思想の自由のためのサハロフ賞」の受賞候補にもなった。フリーダムハウスから「国際宗教自由賞」も受賞している。

李氏は人前に出ることを避け、文書や法輪功の交流会などで、時折、講義を通して修煉者に指針を与えている。

法輪功は無料で伝えられ、あらゆる人々が学べるようにすることを李氏は常に主張してきた。そのため、法輪功関連の書籍、録画などは全てオンラインで無料で閲覧することができる。

1999年に迫害が始まるまで、1990年代の中国で、法輪功と修煉者たちが国に認められていたことを知る人々は、現在ほとんどいない。

1993年、李氏は北京で「最も歓迎された気功師」と呼ばれ、新領域科学進歩賞を公式機関から授かった。

同年、中国公安省発行の人民公安新聞は、「犯罪を抑えようとする従来の中国人の美徳を推進し、社会の秩序を守り、社会の清廉さを促進する」ことに貢献したとして、李氏を称えている。

1999年まで、中国当局は法輪功の利点を数量化していた。一例として、中国の国家スポーツ委員会の幹部は『米国ニュース＆世界報告書』で、法輪功は「毎年国民一人当たり1000元の医療費を節約させ、一億人が学べば、医療費が1000億元、節約されることになる」と公言したことが挙げられる。

同幹部は、「朱鎔基首相は法輪功を高く評価している」とも伝えている。

現在、世界110カ国以上の様々な都市、企業、大学、その他のクラブや協会などで、法輪功は伝えられている。

あなたの家の近くの公園にも煉功場所ができる日が来るかもしれない。

五式の功法

1
佛展千手法
緩やかな伸びの動作を通して、脈をすべて貫通させ、強いエネルギー場を形成します。

2
法輪樁法
四つの型から成り、それぞれの型を数分間、維持します。この第二功法は、エネルギーのレベル、智慧を高めます。

3
貫通両極法
穏やかに腕を上下させる第三功法は、宇宙からのエネルギーを取り入れて体を浄化します。

4
法輪周天法
手をゆっくりと体の前面、背後になぞらせて動かす第四功法は、体の正常でない状態を正し、気脈が滞りなく通じるようにします。

5
神通加持法
特殊な手印と手の配置から構成された静功で、心身を浄化させ、神通力と功力を加持します。

法輪功について 知られていない事実を解き明かす…

敵とみなしたものを潰すためなら、どんな手段もいとわない。中国共産党の残虐さは、法輪功にまつわる四つの重要な事実から測り知ることができる。

この資料を手にする前から、法輪功の修煉者が中国本土で投獄され拷問を受けていることをすでにご存知だろう。しかし、この平和的な団体を潰すために中国共産党政権が行って来た長期に及ぶ虚偽、裏工作、暴行の全容をつかむために、下記の四つの事実を知ることは不可欠だ。

たとえ法輪功について全く知らない方でも、また中国専門家でも、ここに記す四つの事実が、あなたの生活にすでに影響を与えているか、今後与えていく可能性がある。中国共産党による複雑で理解し難い宣伝工作や隠ぺいを理解する手助けとして、これらの事実を詳細に解説していく。

1 捏造された天安門焼身自殺

2001年1月23日、北京の天安門広場で5人が焼身自殺を図ったとされ、そのわずか数時間後、国営メディアが事件を報道した。

その後、数日にわたって、法輪功の教えがこの悲劇を招いたと責める形で犠牲者の陰惨な映像が流された。しかし、事件は法輪功を悪魔化するために、中国当局が作り上げた狡猾なプロパガンダだったと、数多くの証拠が示している。

疑問視される数々の点

・米紙ワシントンポストの調査によると、天安門広場で焼身自殺を図った者のうちの２人は、法輪功を修煉したことがなかったことが判明している。

・事件の真相を追うドキュメンタリーとして賞に輝いた映画　『偽火』は、警官に頭部を強烈に殴打され、自殺者が倒れた瞬間をスローモーションで収めている。

・国営放送の報道映像では、自殺者が話し終えるのを待っているかのように、警官がその横に立っていた。その後、おもむろに消火毛布を、火炎のないところに被せており、「やらせ」の意図が窺える。

・法輪功の理念によると、法輪功修煉者は殺生をしない。これには自殺も含まれる。

なぜ中国共産党はこれほどまでに手の込んだ芝居を演出したのだろうか。

法輪功は、1999年には評判が良く、広く知られており、国民1億人が修煉していた。同年に開始された法輪功に対する弾圧政策に、中国人の多くが疑問を呈するのは当然だった。そこで、「法輪功は正気を失わせる危険なものだ」というカルト的イメージを作り上げる必要があった。「焼身自殺」を捏造し、国営メディアに連日これを宣伝させることで、それまで法輪功を支援していた多くの中国人は、危険でさえあると信じるようになった。

映像はこちらでご覧になれます：
jp.minghui.org

合図を待つ警官の姿：すでに鎮火した焼身自殺者の体に、警官が消火毛布を被せている。順序立てられたシナリオをただ実行しているかのようだ。（映画『偽火』より）

2 平和的な陳情 事実を塗り替え弾圧の理由に

静かに整列する修煉者：1999年４月25日、北京の政治的中枢である中南海。声高なシュプレヒコールもなく、かつてない平和的な陳情は、後日、政府は法輪功弾圧を正当化するため、「包囲された事件」に仕立て上げ、国営メディアに放送させた。

1999年4月25日早朝、全国各地から1～2万人の老若男女が、北京・中南海に集まった。中南海には中国共産党本部や国務院があり、政府要人の居住区でもある。集まった人は全て法輪功の修煉者だった。

修煉者に対する嫌がらせや威圧の停止を政府に求め、威喝されることなく屋外で自由に煉功することを認めてもらうよう、修煉者が自発的に中国の中央陳情受付機関に集まったのだ。その前日、近くの天津市では、40名以上の修煉者が殴られ逮捕されていた。

集まった修煉者たちは静かに整列した。煉功する者もいれば、静かに話をする者もいた。

当時の朱鎔基首相が修煉者の代表者と面会し、修煉者の懸念は聞き入れられ、全員が家に戻った。

しかし、当時の国家主席・江沢民は、別の計画を企んでいた。すぐに「610弁公室」（6月10日の発足に因む）の設置を命令し、法輪功を完全に抹殺するための特殊な警察機関を配置した。7月20日、大規模な弾圧運動が始まった。

その後、国営メディアによる法輪功を誹謗する宣伝が頂点に達した際、4月25日の平和的な陳情の集まりは、「中央政権の敷地に包囲網を張った」とゆがんだ報道をされた。あたかも法輪功が挑発的な政治団体であるかのように報ずることで、際限なき残虐な迫害の正当化をもくろんだ。

法輪功迫害において「被害者に濡れ衣を着せる」という手口は、国外へも広がり、海外メディアは当局の発表をそのまま報道した。

しかし実際、法輪功に対する弾圧は1996年から水面下で行われていた。4月25日の陳情は、中国共産党当局にとって都合の良い口実を与えただけであり、弾圧を引き起こした原因ではない。

3 法輪功を起因とする1400人の死亡説を捏造

1990年代、口コミで法輪功の健康効果が伝わり、数百万人がその効果を体験した（6ページ「健やかな体験」を参照）。国営メディアや政府機関も、法輪功の健康作用とそれに伴う薬代の節約を宣伝し、法輪功をさらに広める役割を果たした。

そのため、弾圧を始めるには多くの理由付けを必要とした。身体に良く、多くの人々が有益であることを体験した法輪功をやめさせなければならない。これまでの政府の奨励も否定する必要がある。

そこで、1400人の法輪功修煉者が死亡したという嘘を捏造。国営メディアは、人々の感情を刺激する画像を駆使し、疑わしいケースとしてあらゆる角度から報道した。主な死因として「法輪功が薬の服用を禁じたため、死に至った」と解説をつけた。

政府の態度が豹変した不可解なタイミングに加え、政府の主張には適切な証拠が伴わず、死亡説には説得力が欠けた。さらに、第三者機関の調査も阻止された。世界110カ国以上に広がる法輪功修煉者の間で、このような死亡例は中国以外では報告されていない。

ここで最も重要なのは、実際に個々の事例を調査した結果、「死亡」事例は全て捏造だったことだ。一例として、1999年11月に死亡したとされる陝西省の張志文さんのケースが挙げられる。国営メディアは「中国共産党の取り締まりに抗議する目的で、6カ月の長女を焼き殺し、本人も自殺した」と伝えている。この案件は中国全土に報道された。しかし、数カ月後、この話は架空のもので、該当する張さんは存在しないことが判明した。

偽りの展示：中国共産党が主催する反法輪功の展示資料を見つめる男性。法輪功修煉者が行ったとされる危害が展示されている。後の調査で、これらは全て捏造されていたことが明らかになった。

4 法輪功修煉者の臓器を強制的に摘出

中国で起きている殺害と臓器摘出のおぞましい事実を裏づける証拠が次々と確認されている。数千人におよぶ法輪功修煉者が臓器摘出のために殺害されているという事実が、目撃者、医師による報告書から明らかにされている。売り渡された臓器は移植され、多大な利益が生み出されている。

この凶行を推し進めているのは中国共産党の高官で、医師、刑務所当局、軍の幹部が協力している。

犠牲者は労働教養所に収容され、臓器摘出後、遺体は即座に焼かれる。

この信じがたい残虐行為は、2006年3月、自らが勤務していた病院で、法輪功修煉者が臓器摘出のために殺害されていたと語る女性により、初めて明らかになった。この女性はまた、遼寧省瀋陽市の病院に勤める外科医の夫が、2000人あまりの生存中の法輪功修煉者から角膜を摘出する手術を行ったことを彼女に告白したとも証言した。

一週間後、ある軍医がこの女性の証言を裏づけるだけでなく、中国全域におよぶ36カ所の労働教養所で、この残虐行為が行われていると断言した。また、家畜を運搬する列車に法輪功修煉者が大量に押し込められ、厳重な警戒体制の下で移動させられるところを目撃したとも証言した。

海外の法輪功の支援者や人権活動家は即座に調査を開始した。調査員は肝臓または腎臓を購入するふりをして、中国の病院施設に電話を掛けた。恐ろしいことに、複数の医師が次々と、「法輪功の在庫はあるから、一週間程度で臓器は調達できる」と話し、公然と事実を認めた。

> 「地球上かつてなかった悪魔の姿だ」
> —カナダの調査員
> デービッド・マタス弁護士

これらの報告に衝撃を受けた二人のカナダ人が、独立調査に乗り出した。2006年7月、前カナダ政府アジア太平洋担当大臣のデービッド・キルガー氏と人権弁護士デービッド・マタス氏が、140ページに及ぶ報告書を発表し、「遺憾なことに疑惑は真実だった」という結論を述べている。

米国のフリーランス・ジャーナリストであるイーサン・ガットマン氏も、独自の調査に乗り出した。両調査とも、2000年～2006年までに4万～6万5千人の法輪功修煉者が、このような形で殺害されていると結論づけている。

臓器摘出はどのように行われるのだろうか。2000年頃、刑務所の幹部と医師が結託し、拘束された法輪功修煉者の身体検査を系統的に行い始めた。拷問によるものと思われる負傷は無視し、生命を維持する臓器の状態を検査するのだ。そして、患者が臓器を必要とする時、適当な拘束者から臓器を摘出し、移植手術に用いる。

実際、中国のあるウェブサイトでは、適合する臓器を1～4週間で提供できることを誇っていた。病院側が生存している「臓器提供者」を多数準備していない限り、これほど短い期間での臓器提供は不可能であると専門家は語っている。

臓器摘出が最初に告発されると、中国共産党当局は、証拠隠滅を試み、同時に疑惑を否定した。また、国連の拷問禁止委員会が臓器の提供源に関する詳しい説明を求めた後も、当局は調査に抵抗した。

カナダの調査員の１人、マタス弁護士は、生存中の良心の囚人から臓器を摘出することを、「地球上かつてなかった悪魔」と形容している。中国共産党政権が犯した残虐行為が、想像以上にひどいものであることを示している。

さらに、医師の養成、国外の患者の受け入れから、共同研究に至るまでの中国の臓器移植業界の要望に応えた国際社会が存在しており、それらの人権侵害に関わる者は、中国本土にとどまらない。しかし、複数の国の政府と国際機関は、臓器摘出の疑惑と証拠を認識した後、対抗措置を取るようになった。2007年初め、イスラエルの健康保険会社は、海外移植手術のため患者を中国に送ることを停止した。

臓器摘出を認める中国人医師

2006年6月8日　黒竜江省密山市刑務所

調査員（以下・調）：法輪功（の臓器）を提供していますか？
李：以前はそうしていました。
調：現在はどうですか？
李：…今も…
調：費用はどれくらいですか？
李：会ってから話しましょうか…
調：40歳以下の（法輪功の）臓器はどれくらいありますか？
李：かなりあります…
調：男性ですか、女性ですか？
李：男性です。
調：現在、どれほどの男性の法輪功（臓器）を確保していますか？
李：7、8人。少なくとも5、6人は待機させています。

2006年3月16日　上海交通大学肝臓移植センター

調：（臓器が提供され）移植手術まで、どれくらい待ちますか？
代医師（以下・代）：提供臓器はすでにあります。毎日あります。毎日手術が行われています。
調：新鮮で生きた臓器を希望しているのですが。
代：すべて新鮮です。生きています。
調：今まで何回ほど手術をされましたか？
代：400～500件ほど…あなたはただお金を用意してこちらに来ればいいのです。
調：いくらですか？
代：もし、うまくいけば15万元…20万元。
調：どのくらい待ちますか？
代：血液検査をして血液型を調べなければなりません。もし今日来るなら、一週間後にはできるでしょう。
調：いくつか（の臓器）は、法輪功を学ぶとても健康な人からのものだと聞きましたが。
代：ええ、ありますよ。でも電話では話せません。

文化の担い手

中国の伝統的価値観を呼び起こす法輪功、21世紀に「中国人」であることに新たな可能性をもたらす

一般的に、「中国文化」という言葉から何を思い浮かべるかを尋ねると、実に多様な回答が得られるだろう。

カンフー、パンダ、お茶、書道、万里の長城、儒教、ムーラン…

しかし、ほとんどの人は、現代の中国文化で恐らく最も劇的で最も重要な事象である「法輪功」を連想することはない。

国際社会において、多くの人はこの精神修養法を耳にしたことがなく、どのように修煉するのかも認識していない。

さらに法輪功が提示する、魅力あふれる中国古代文明の世界や、現代中国に見られる伝統文化の消失がもたらした悲劇を認識する者はさらに少ない。

法輪功の高い人気は、文化復興の希望の源泉となった。かつての伝統に根づきながらも革新的な、21世紀の中国人の新たな存在形式を提示している。

中国の伝統思想に遡る

法輪功が一般の中国人に伝えられたのは1992年だが、その発想の根底は中国五千年の歴史を遡る。

法輪功の特徴である煉功動作は、記録されている中国史の最古の時代にはすでに見られる。

修煉方法は、詳細こそ異なるが、形式としては、中国の青銅器時代の住民に馴染まれていたものと考えられている。

少なくとも孔子や周の時代の中国の伝説では、数十年にわたる修煉によって、身体が不死の物質に変化し、高い境地に達した神聖な覚者のことが語り継がれている。

法輪功の中核にある「真・善・忍」の理念は、中国文明の初期の時代から、賢人や文学者により様々な書物に繰り返し記述されている。

法輪功の提示する「自己修煉」は、中国古代の道教・佛教と同系にある。生活の中で徳を重んじ、肉体を変化させていき、精神的な洞察力を深めていくことを通して、宇宙との融和を目指すのだ。

つまり、法輪功は中国文化そのものである。

心に響くなにか

法輪功は、現代の中国において、時代錯誤だというわけではない。それとは反対に、現代中国にぴったりなのだ。

簡素を重んじる儒教の規範に代わり、中国では消費主義が公然と居座るようになった。ほとんどの人は、崇高な悟りの概念より、儲かる仕事を望むようになった。

しかし1990年代、法輪功は目を見張るほどの人気を集め、わずか7年で1億人の人々を惹きつけた。

法輪功の持つ何かが、あらゆる人々に共鳴した。朝の公園での煉功（法輪功は外で煉功することが多い）の参加者は、大学教授から、用務員、研究所の科学者、高齢者まで、実に様々だった。

法輪功は、人々に語りかけるだけでなく心の底から鼓舞した。人々は自ら進んで公園や自宅に集まり、自発的なコミュニティを形成し、世界そして在外中国人コミュニティへと広がっていった。

文化の復興

法輪功は中国人の魂の奥深くに触れる、純粋な中国なのだ。しかし中国本土では、共産党の教義が横行し、従来の中国文化がほとんど見られなくなっていった。

法輪功は、「真・善・忍」という古代から伝わる高尚な価値観に根付いており、数世紀におよんで蓄積された、智慧と煉功に支えられることである。

そして煉功は、現代の社会人がストレスと毒素に満ちた世界を乗り越える上で、強力なツールである。

最も重要なことは、法輪功の価値観、修煉方法が、人々のいるものだということだ。法輪功の劇的な広がりからも分かるように、法輪功は現代人の感受性、ライフスタイルと衝突するものではない。

法輪功は、新たな世紀に「中国人」であることの意味を塗り替えた。将来を見据えると同時に、過去の文化を土台とするあり方を提示したのだ。

法輪功は、中国共産党が消滅させようとしてきた文明に息吹を与え、文化の復興をはかっている。

見逃してはならない、二度とない機会だ。

選択

友よ

私が伝えたのはあなたの宿願であり

真相は人間の真なる念を開くことができる

久しく封じられた記憶が開かれるとき

前史の誓いがあなたに約束を果たさせる

弾圧下の虚言に騙されないで

真相を知ることこそ生命の要

私は衆生が災難から歩み出ることを願う

善と悪の間で神は約束を果たしている

法輪功創始者

李 洪志

2006年4月30日

より深い理解へ

法輪功は、世界の多くの人々にとって中国伝統文化への入口

煉功する米国の法輪功修煉者。法輪功の功法は、幾世紀にもおよぶ中国の伝統文化に基づく。

多くの米国人と同様に、マイケルは中国文化に縁があると感じていた。座禅、お茶、二胡など全てに共鳴するものがあった。

ニューヨーク北部で生まれた彼は、大学で中国史と中国文化を専攻し、卒業後に中国を訪れた。

彼は名門大学で中国文化を学んだものの、法輪功を修煉して初めて、中国文化を「真に理解した」と感じたという。

「全く違うレベルで中国文化を認識するようになったのです」

「法輪功を通して、『徳』の概念、水墨画の手法、煉功の際の手の動きなど、中国文化の奥深い精神性を見いだせるようになったのです。そして、私が落ち着いたと周囲の人々も気づいたように、目に見える形で私の人生は変わり始めました」

「五重塔、仏像、箸だけが中国文化ではないことに気付きました」

多くの中国人は、マイケルの中国文化との深遠なつながりを知ると、深く感動する。

「さまざまな世界への扉が開き、会話が広がるのです」と、マイケルは言う。

コロラド出身のプロジェクトマネージャーのランスにとって、中国文化は料理のイメージしかなかった。しかし、法輪功を通して、中国文化への理解が高尚なものになったという。

「哲学、礼儀、互いに対する配慮などが玄妙に折り重なっていることを理解しました」

全く予期しない形で、ランスは法輪功の恩恵を受けた。

台湾人婚約者の家族は当初、アメリカ生まれでアメリカ育ちの彼との結婚に反対した。

しかし、彼が法輪功の煉功をしている写真を一目見て、態度が一変した。皆、彼を敬うようになったのだ。

「突然、僕に対する態度が変わりました」と当時を振り返る。6ヵ月後、二人は祝福の中結婚した。

同志・孔子？

次々と中国文化を利用する共産党政権の違和感のある文化

昨今、孔子が至る所に見られる。

見せかけの調和ショーとなった北京五輪の開会式では、ダンサーたちが賢人・孔子を演じた。

昨年、天安門広場に、孔子の肖像が建立された。

中国政府が出資する孔子学院は、世界のあらゆる大学内に設けられている。

この思想家が文化大使になることは良いタイミングのように見える。政治家に耳を傾けてもらうという、かつての願いが叶ったかのようだ。

しかし、一皮剥くと、どこか歪んでいる。何かが欠けている。孔子の思想とはかけ離れているのだ。彼の言葉も変えられている。

質素で慎ましい生活 、祭礼を重んじる心、天上への畏敬への戒めが一切ない。

市民を抑圧する政権への批判が一切ない。「暴君は人を食う虎より悪い」と言ったのは孔子なのだが。

孔子は中国のあらゆる所で見られるようになったが、実際はどこにもいないのだ。

中国共産党の理論指導者が、儒教の批判的な部分を除去し、権力を脅かすことのない、あたりさわりのない中国共産党版パロディーを作ってしまった。

現代化しただけではない。政治的目的のために盗用したのだ。

孔子学院は、より大きな、未解決の問いを提示することになった。中国の伝統文化は共産党政権が統治する中国で存在することが可能なのだろうか。より具体的な問いとして、党はその存在を許すのだろうか。

その答えを求める上で、一つ留意しなければならない点がある。中国政権はあまり中国的ではないということだ。そのことは政権自体も自覚している。

現在の中国のイデオロギーは、旧ソ連で造り出されたもので、欧州のマルクス・レーニン主義を生みの親とする。20世紀の初め、ヨーロッパの無神論と暴力への傾倒が、中国の古代から伝わる文明に覆いかぶさった。

あまりにもそぐわない。

数世紀にわたり根付いていた礼儀、調和、思いやり、高齢者への尊敬は、おかしなものとされ、「闘争」が新たな共通語となり、暴力を特徴とする政権が確立した。

孔子が喜んでいるはずがない

毛沢東統治のもとで、伝統文化が公然と攻撃された。市民は中国伝統の「古い世界」を破壊するよう奨励された。佛教寺院はブルドーザーで跡形もなく壊され、孔子の像は大きなハンマーで叩き壊された。狂気じみた革命のうねりの中で古典小説も焼かれた。

現在の中国政権が信奉するもののほとんどが、数千年にわたる中国文化の価値観と対立する。

中国共産党の制御を受けず、真の中国文化を表現するものが、自然に出現したとしたら、中国共産党政権はどう感じるだろうか。

脅威だ。

中国共産党政権は、中国古典舞踊の神韻芸術団を阻もうとする不可解な行動をとっている。神韻が中国文化を復興させようとするかたわら、中国共産党政権は、開催を取り消すように世界中の劇場に圧力をかけている。

一方で、中国の豊かな文化を伝承し、共産党政権の支配を受けない台湾は対照的な存在だ。台湾での神韻公演は、このような妨害はなく、政府高官から表彰されている。

実は、共産党政権にとってこれらの行為は、法輪功迫害と重なるのだ。

中国共産党の指導者は、法輪功に自らの対極を見たためである。

法輪功の中国古代の伝統に基づく理念と動作は、人々の心や気持ちと共鳴する。

法輪功の三つの理念「真・善・忍」は、利他主義や思いやりなど、人間性を基盤とする行為を奨励し、中国社会を改善する役割を果たしてきた。

一方、党の理念と「闘争」のイデオロギーは、汚職、偏狭、暴力行為を生み出してきた。

孔子が喜んでいるはずはない。

世界法輪大法デー（2010年）の祝賀祭を彩る獅子舞。恒例のイベントで何万もの人々を惹きつけている。ニューヨークのユニオンスクエアで。

パレードの後。法輪功修煉者で構成される天国楽団の一員。天国楽団は数多くの栄誉賞に輝いた。

中国での正義を求める2007年の「人権聖火リレー」で、ギリシャのアテネに現れた正義の女神。

法輪功の様々な活動

法輪功は中国で始まったが、一般に公開されてから20年にわたり、世界的な現象として広がっていった。パリの公園から、ブルックリンのコミュニティーセンターに至るまで、法輪功を学ぶ人の姿をあらゆるところで見ることができる。修煉者達は法輪功の中核にある「善」の理念に基づき、コミュニティに還元し、人の役に立とうとしている。実に多数の声明文、賞、認定書などが、法輪功が社会や個人の生活にもたらした恩恵を裏付けている。ここでは、法輪功修煉者の様々な生活や活動の写真を紹介する。

「このグループは、パレード全体をかなり高いレベルに引き上げてくれる」

—パレードの観客

中国で迫害され亡くなった法輪功修煉者を追悼する行列。白は中国の喪の色。

一万人以上が集まった2011年のパレード。中国共産党の虚言を見抜き、独裁的な政権から身を引くよう、中国の市民に呼びかける。

法輪功のイベントで、親の横で法輪功のポーズをとる子供。

中国で法輪功への迫害が始まるわずか1カ月前の1999年6月25日、法輪功創始者・李洪志氏（右）が、米国イリノイ州で特別貢献賞を受賞。また、同日は「シカゴ市李洪志先生の日」と制定された。

社会に貢献したとして、法輪功は数百にのぼる賞、声明文、その他の公的な表彰状を受けてきた

法輪功修煉者による絵画展で、深く感動している男性。勇気、信念、希望そして中国での不正行為を、力強く描き出している。

轟響く太鼓の音とまばゆい衣装で、祭りを通して伝統的な中国文化を再現。台湾の台北パレードで。法輪功修煉者は、中国伝統文化の復興に力を注ぐ。

1億人を組織的に弾圧

世界最多数と言えなくても、中国で最多数の良心の囚人
法輪功修煉者への迫害は、いつ、どのように始まったのか

1999年7月20日、真夜中のことだった。暗闇に包まれた中国で、何百人もの一般市民が、警官に無理やり寝床から引きずり出された。彼らの多くは留置場や刑務所に拘束された。殴打され、中には拷問によって死亡する者もいた。

彼らが何をしたというのだろう。当時、中国で人気を博していた伝統的な煉功と精神修養法である法輪功を学んでいただけだ。

警官はトップの命令に従って行動したに過ぎない。 法輪功修煉者を弾圧せよという指示を出したのは、当時の中国共産党トップの江沢民だった。一億人以上を惹きつける気功に嫉妬した江沢民は、自分の権力の方が強いことを世間に示そうとしたのだ。

二日後の7月22日、法輪功は中国全土で禁止された。その日以来、十数年にわたり、何千万人もの一般市民を国家の敵とする暴力的な迫害運動が続くこととなる。

江沢民は、「法輪功を弾圧する」ためには、「どのような措置をとっても行き過ぎではない」と宣言。今日までに、3500人以上の法輪功修煉者の死亡が記録されている。そのほとんどは、警官に拘束され厳しい拷問を受けた末に亡くなった。何百万もの人が労働教養所や刑務所に非合法に入れられ、悲惨な状況となっている。虐待、強姦、強制労働は日常茶飯事だ。勢力に乗じ、迫害は社会の隅々まで広域に浸透していった。

チリの独裁者ピノチェトやルワンダの民族虐殺の行為者を提訴したジョルジュ・アンリ・ボティエ人権弁護士は、この迫害を「おぞましいジェノサイド」と形容している。

> **中国政府は、「組織化された洗脳、拷問、殺害を通して、体系的に法輪功を根絶しようと試みてきた」**
>
> —米国議会

以下は、法輪功迫害の主な特徴である。

憎悪を促す宣伝

中国のテレビニュース、ラジオ、新聞を、法輪功誹謗で満たすために、数億円の資金が投じられた。目的は二つ。一つは、事実を曲解し法輪功を悪魔化し、一般市民が忌み嫌うようにすること。もう一つは、中国共産党の人権侵害を隠蔽することだ。

迫害は想像を絶するほど徹底して行われている。学校では、法輪功への憎しみを植え付けるような嘘が教科書に掲載され、生徒はその内容を学ぶよう強要される。大学の入学試験には法輪功を批判する質問が含まれる。職場では「勉強会」が義務づけられる。

情報の統制

中国政府は、メディアを統制することで法輪功の悪いイメージを植え付けるだけではなかった。法輪功の良さを伝える本、テープ、ビデオ、パンフレット、関連資料の全てが発禁処分にされた。

法輪功への誹謗を伝える政府のウェブサイト以外、法輪功に言及するものは全てブロックされた。中国語の微博(ミニブログ)への投稿も削除された。法輪功を学習しているとされる人々の電話は盗聴され、メールも監視されるようになった。政府が禁じる法輪功のウェブサイトにアクセスし印刷しただけで、10年間投獄された者もいる。

歪められた法規

法制度が法輪功修煉者を保護することはほとんどない。当局は見せかけの法律を取り繕うことすらしない。警官は修煉者を自宅から拉致する。北京オリンピックの直前には8000人が拘留された。その多くは当局の独断で労働教養所に送り込まれた。

労働教養所の「再教育」

中国の労働教養所での「再教育」は、旧ソ連のグラグに相当する。法輪功修煉者を拘留するための主要な場所であり、場所によっては、一カ所で数百人を拘留している。

非人道的な状況下で1日18時間に及ぶ重労働を強いられる修煉者もいる。倒れたり、ノルマをこなせなかったり、命令に従わなかった者は、殴打され、拷問され、飢餓状態に置かれる。数百名がこのような労働教養所で死亡している。

沈黙させられた人々:中国当局は女性に対し、不法監禁・検閲・暴力の三つの手段で苦しめている。

強要と洗脳

「再教育」とは、法輪功を放棄させることにある。犠牲者は強制労働所だけに止まらない。全ての修煉者が洗脳の対象となり、個人のアイデンティティーは破壊され、中国共産党政権の望む思考が植え付けられる。自己の信念を捨てることを拒否する者は、職、年金、家屋、そして自由を失うと脅迫される。

2001年に始動した3年計画の「再教育」により、中国全土で数千人が洗脳センターに連行された。拘束された後、意志が折れるまで睡眠を剥奪され、拷問を加えられた。

女性虐待

迫害運動で最もショッキングなことは、女性修煉者に対するわいせつ行為の頻度だ。スタンガンを胸に当てて衝撃を与えたり、看守が強姦したりするケースもある。当局の暴行により中絶してしまった女性修煉者も存在する。

落ち着かない日常

私たちに明かされていないことは、まだまだある。法輪功修煉者から強制的に臓器を摘出されている証拠が相当数存在している。多くの修煉者は常に緊迫した状況に置かれている。ドアのノックは不当拘禁を意味するかもしれない。次の日には、暴行され尋問を受けるかもしれない。スタンガンの一撃で死に至るかもしれない。中国の政界は混乱しており変動しているが、法輪功への迫害運動は、今日まで止むことなく続いている。

しかし、暗闇の中にも、希望の光は残る。それは固い決意をもった人々の心に宿っているのだ。信念の力で、彼らは耐え抜き、折れることなく、私たちの助けを求めている。

求めに応じることこそ人道だ。

迫害に関する重要な数字

- 1999年に迫害が始まった時、1億人が法輪功を学んでいた。
- 数百万の中国人が、法輪功を学んでいるというだけで、連行・投獄・拷問され、職を失い、退学処分を受け、ホームレスとなった。
- 45~100万人の法輪功修煉者が、不当に労働教養所、留置場に拘禁された。 世界最多数と言えなくても、中国で最多数の良心の囚人である。
- 8万人以上の拷問の事例が記録されている。
- 数千人が殺害されている。

老若男女にわたる犠牲者

于宙さん(42)は北京で人気のフォークソングのミュージシャンだった。2008年1月26日、法輪功の資料がカバンに入っていたという理由で、彼と妻は自宅への帰途、警察に拘留された。11日間の拘束期間に拷問を受け死に至った。妻の許娜さんは懲役3年の判決を受けた。

孫敏さん(39)は、夫が法輪功迫害の事実を伝えるDVDを配っていたため拘束され、彼女も自宅から警察によって連行された。夫婦は尋問を受け、その数時間後、孫さんは死亡した。中国の情報筋によると、スタンガン、および重い物をぶつけられた跡が、身体に残っていたという。

謝徳清さん(69)は、2009年4月29日に拘束され、新津(四川省成都市)の洗脳センターに拘留された。肉体的な虐待を受け、20日後にやせ衰え、失禁状態で解放された。気を失った謝さんは、わずかに目を覚ました時に、拘留中に不明な薬物を注射されたことを訴えた。4日後、死亡した。

真相を伝える：人々に広く迫害の事実を伝えようとする草の根運動で、若者と高齢者がひとつになって、緊急のメッセージを広めている。

影の英雄たち

中国本土の不当な行為に対して、太平洋を挟んだ諸国の一般市民が、目を見張る努力をしている

努力の中心にある信念：世界の人々の認識が、邪悪を抑止する

風雪が舞い、寒さが押し寄せる、冬のニューヨーク・セントラルパーク。

若きシステムエンジニアのロバートさんは、カバンからチラシを取り出し、立ち並ぶプラカードの前に立った。プラカードは、中国での法輪功迫害の事実を伝えるものだ。土曜の朝の2時間、彼は通行人にチラシを配る。

隣国の中国中部では、40代の女性の林さんがチラシを詰めたカバンを背負い、自転車に飛び乗っていた。会計士の林さんは、ペダルをこいで1時間半ほど離れた村へと向かった。4時間かけて村の一軒一軒にチラシを配る。家に戻り数時間の睡眠をとって、早朝、仕事に向かう。

顔を会わせたこともない2人は、中国国内の法輪功迫害の停止を呼びかけるという一本の固い絆で結ばれている。

2人の活動は、世界に広がる巨大な草の根運動のほんのわずかな部分だ。信じがたい勇気と自己犠牲の物語の一章にすぎない。

努力の中核にあるのは、世界の人々の認識が邪悪を抑止する、という信念である。

私達にできることは？

- この資料を知人に渡す
- この資料の内容を知人に伝える
- 迫害を止めるよう中国大使館に電話する
- 迫害に関する詳細をhttp://jp.minghui.org/から学ぶ

100万人のうちの1人

中国の林さんの行動は、特殊な例ではない。彼らは孤独な活動家ではなく、若い理想主義者でもない。彼らは母、娘、学生、教授、ビジネスマン、官僚などの仕事を持つ普通の人々だ。

法輪功迫害の停止を呼びかけるという絆は、人類史で最大の草の根メディアを形成した。

中国全域にわたる何万軒もの家や地下室、その他の場所で、チラシ、新聞が印刷されているだけでなく、横断幕、CD、DVDが製造されている。

これらの資料は、中国全土の各都市各村に、時には月明かりのもとで配布されてきた。身の安全のため、配布作業は夜間に行われるのだ。警察に捕まえられた場合、チラシを配布しただけで、7年間の禁錮刑、そして拷問が待っている。

これらの人々は、ただの市民ではない。英雄だ。自分の心地よい生活を二の次にして、自らの時間と資源を駆使して、会ったこともない人を助けるために、努力を重ねている。

迫害を認識するという力

彼らの目標は、出来るだけ多くの人の手に資料を渡し、中国共産党による法輪功への迫害の実態を伝え、宣伝工作による偽りを暴くことである。

中国の圧政と不正裁判のもとでは、警察や労働教養所の看守が拷問を加えても咎められることはない。この状況下で、迫害を暴露することは、被害者の保護につながる限られた方法の一つだ。

「知ることは大切です」と法輪大法情報センターのレビ・ブロウドさんは語る。「修煉者に暴行をふるう警官が、罪のない人を自分が拷問していることを近所の人々や配偶者が知っているということに気づけば、暴力をふるうことを躊躇するようになります」。

他の修煉者は、拷問を加える者に直接電話をする。中国国内外に「世界は何が起きているかを知っているから迫害をやめるように」と、情報を伝えるための活発なネットワークが存在する。

彼らはインターネット上に迫害に関する情報が流されてから数時間以内に電話をすることができる。この方法は想像以上に効果的だ。ある者は謝罪し、またある者はリストから名前を削除してくれれば迫害を停止すると言って、情状酌量を乞うた。

中国国外では、法輪功修煉者が、テレビのドキュメンタリーを制作したり、政府の検閲を突破するソフトを開発したり、主要な犯罪者を訴える訴訟を起こしたり、自転車で国を横断して、人々に迫害を認識させたりしている。

動機は何か？　それは法輪功の中核にある「善」（慈悲心）に起因する。

「法輪功では他人を優先させ、慈悲心を育むように努めます。他人の痛みは自分の痛みであり、見てみぬふりをして何もしないわけには行かないのです」とロバートさんは語る。ロバートさんは中国の労働教養所に直接電話はしないが、同様に活動を支えている。

「労働教養所から釈放された中国人の修煉者に初めて会った時のことは、一生忘れません。私たちは何度も彼のために手紙を書いたのです」とロバートさんは思い起こす。

「『これほどの人々が自分の釈放のために活動してくれた』。このことを知った瞬間、その修煉者は涙でむせびました」

このような精神に基づいて、この資料は作成された。ここに書かれた情報を知人と分かち合い、中国の人々に希望をもたらしてほしい。

誰のため？

私たちの発行するチラシやイベント活動は、中国での悲惨な状況に終止符を打つためのものです。同時に、自由社会の人々も助けています。

下記に挙げたように、私たちは皆、被害者です。私たち一人ひとりがこの迫害に加担してしまっている可能性があります。

良心に反して行動するよう求められ、後で後悔してしまうかもしれません。

中国での出来事に、私たちは同情的なのか、何かの行動を取ろうとするのか、それとも無関心でいるのか。

どのような行動を取るかを考える際の手引きとなるよう、この資料の内容を分かち合いたいのです。時間をかけてこの資料を読み、法輪功のことを気遣ってくださるだけで、大きな違いが生まれます。

私たち一人ひとりが被害者

迫害の被害者は「良心の囚人」である法輪功修煉者にとどまりません。下記のように、世界のあらゆる人々が、知らぬ間に被害者になっているのです。

中国国内で

配偶者　妻が法輪功を続けるならクビにすると中国共産党の幹部から恐喝され、職場の人には、妻を殴るようにそそのかされる。

警官　法輪功修煉者に信念を捨てさせるため拷問することを強要される。割り当てられた修煉者の信念を捨てさせるノルマをこなさなければ、昇進の機会を失うか、降格させられる。

学生　学校の事務所に、ルームメートが法輪功修煉者であることを通報させられる。中国共産党による法輪功への中傷を鵜呑みにし、法輪功が邪悪で危険なものと思い込んでいる。

世界で

新聞記者　記者としての誠実さを貫けず、中国での取材許可を失うことを恐れ、法輪功迫害に関して取材しない立場を選択している。

市長　中国大使を怒らせ、中国からの投資を危険にさらさないため、自分の選挙区の法輪功修煉者と関わることを拒否し、市長としての義務から背いてしまう。

ビジネスマン　良心に背き、中国の取引先の要請に屈し、法輪功を否定することで、中国企業から気に入られ、ビジネスチャンスをより多く確保しようとする。

今、刻まれる歴史

ここで取り上げられたストーリーには、美しさ、恐怖、希望が混在しています。あらゆる生命に影響を与え、全ての人々の心に響きます。

過去20年以上にわたって続き、今もなお刻まれている歴史です。

法輪功のストーリーは、1992年5月に、一般に公開された時から始まりました。

是非、この資料を開いて、この知られざる事実に触れてください。知って良かったと思われることでしょう。

明慧（ミンフイ）ネットとは？

世界の法輪功のコミュニティに関する報告を行うボランティア機関です。明慧は中国からの報告に焦点を当てています。10年以上にわたり、明慧の編集者は毎日、中国全土から直接、数多くの報告を受けています。明慧は、中国全土および世界の法輪功修煉者の生活の窓口として、最新の実体験の報道を提供します。

明慧ネットはまた、世界の法輪功修煉者がコミュニケーションをはかる上での中枢としての役割を果たしています。自分の考えや体験、中国本土での迫害の暴露、問題が生じたときの指南などを分ち合います。法輪功修煉者にとって重要なサイトであり、中国共産党の高官も注視しています。

近年、明慧ネットは、英語、日本語、韓国語、フランス語、スペイン語、ロシア語など、11カ国語で運営されています。

また、ラジオ放送、写真ライブラリー、チラシ、新聞などの専門サイトも発足させました。

明慧日本ウェブサイト：
http://jp.minghui.org/